



先月号でも掲載しましたが、9月13日（日）10時から「塩釜ガス体育館」で宮城県大会が開催されます。

塩竈道院・仙台杜都道院は、例年の通り「記録（集計）」が担当となりますのでご協力をお願い致します。

宮城県大会開催について



仙台杜都道院の稽古で

特別・達磨懇親会祭開催について

今月20日（日）午1時半より、「特別稽古と達磨祭」を開催します。行事終了後は懇親会も予定しております。多数の参加をお願い致します。

「少林寺拳法体験会」を開催します

10月5日（月）午後7時から仙台杜都道院を会場に「少林寺拳法体験教室」を開催します。

今後、インスタグラムを中心とするSNSで体験者を募集します。所属拳士の皆さんに於いてもポスター掲示と知人等へのお声掛けをお願い致します。

大澤隆管長 縁起

知識を行動に変える

先般の熊本での地震、また千葉県を中心とした豪雨災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な日常が戻ることを願っております。

9月1日は「防災の日」です。日本ではこれまで、地震や台風、豪雨など、幾度となく大きな災害を経験してきました。その一方で、過去の経験を生かし、避難や支援、行政や地域の連携など、災害への対応も少し

ずつ改善されてきています。経験から学び、それを次に生かすことの大切さをあらためて感じます。

これは、私たちの修行にも通じることです。技ができるようになった、知識が増えたというだけで終わるのではなく、そこで得たものを日常生活や社会の中でどう生かすかが大切です。今はさまざまな情報を簡単に得られる時代ですが、知っていることと、実際に行動できることは同じではありません。開祖は、次のように説かれています。



塩竈道院の土曜日の稽古で

今後の予定

- ◎ 9月13日(日) 宮城県大会(塩竈市体育館)
- ◎ 9月20日(日) 達磨祭・特別稽古・懇親会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 9月27日(日) 宮城県教区達磨祭(仙台宮城野区銀杏町集会所)
- ◎ 10月5日(月) 仙台杜都道院 体験会(古城コミュニティーセンター)

「自信を持つとうではないか。そして世の中のために役立つたと言われようじゃないか。理想境建設への挺身、それは思うことだけでなく、行動に移すことである。……行動しない信念なんて無意味です。我々は考えたら行動する。拳禅一如、行念一致だ。」
私たちが目指すのは、自ら考え、判断し、自信を持って行動に移せる人です。災害が起きたときにも、まず自分の身を守り、その上で周囲に困っている人はいないか、自分に何ができるかを考えて動く。そのためには、日頃から身心を整え、さまざまな経験



塩竈道院の絵本タイムで

を重ねておく必要があります。

地域の防災訓練や清掃活動、地域行事などに参加し、普段から人とつながっておくことも、いざというときの助け合いにつながります。少林寺拳法の修行で培った行動力や協調性を、道場の中だけにとどめず、地域や社会の中で生かしていきたいものです。

自らを頼りとするところの自己を確立するとともに、何かあったときには互いに支え合える関係を築いていく。それ뿐만 아니라、「人づくりによる国づくり」につながる大切な実践です。

まだ厳しい残暑が続きます。体調管理には十分留意し、ご自愛いただきながら、今月も身心を整え、日々の修練に励んでまいりましょう。

中国古典 紹介

木きに縁よりて魚うおを求もとむ

『孟子』

木によじ登つて魚を取ろうとすること。手段方法がまちがっていたのでは目的を達することができないというたとえである。

孟子が齊せいの宣王せんおうに遊説ゆうぜいしたときのことである。宣王は、武力による天下の統一を夢

みて野心満々であった。その宣王に向かって、

武力によって統一をはかろうとするのは、木に縁つて魚を求めるような愚策ですぞと、そのことを引いていきましたのである。宣王としては納得がいかなかったらしい。「武力を使うのは、それほどバカげたことであろうか」と反問したところ、孟子はこう答えている。「いや、それ以上です。木に縁つて魚を求める、これはまだいい。魚がとれないだけで災難は招きません。しかし、武力を使つて野望を果たそうとすれば、全力を尽くしたあげく、手ひどい目にあうのがオチです」
せつかく立派な目標を立てても、手段方法をあやまったのでは、こんな結果になるのである。



仙台杜都道院の稽古後に